

一般社団法人日本粘土学会 平成 28 年度第 3 回理事会議事録

日時：平成 28 年 8 月 27 日（土）15:00～17:00

会場：早稲田大学 西早稲田キャンパス 6 2 W号館 1 階大会議室

出席者：

- ・理事(16名)：黒田一幸、八田珠郎、山崎淳司、河野元治、伊藤健一、上原元樹、亀島欣一、小暮敏博、志々目正高、鈴木正哉、田村堅志、千野裕之、中戸晃之、日比野俊行、福嶋喜章、宮脇律郎
- ・委任状(10名)：會澤純雄、上原誠一郎、小川 誠、佐藤 努、地下まゆみ、中川昌治、南條正巳、西浜脩二、林 亜紀、皆瀬 慎
- ・監事(2名)：高橋範行、月村勝宏
- ・理事以外の常務委員(5名)：岡田友彦、篠原也寸志、鈴木憲子、万福裕造、横山信吾
- ・事務局：土信田裕子

成立の確認：理事総数 26 名の過半数 14 名

出席理事 16 名、委任状提出理事 10 名、合計 26 名で理事会の開催は成立

審議事項

1. 学会誌等の電子データの J-STAGE への移行

河野常務委員長より、国立情報学研究所の電子図書館事業（NII-ELS）の今年度末での終了に伴い、NII-ELS の学術コンテンツサービス（CiNii）で公開している「粘土科学」、「Clay Science」、「粘土科学討論会講演要旨集」の最新号までの電子データを J-STAGE に無料移行する手続きを行ったことが報告され、承認された。

2. 学会誌等の電子化促進の推進

河野常務委員長より、学会誌等の電子化を推進するための委託業者選定のための見積書が示され、審議の結果、現状の予算相当額で委託可能と判断された国際文献社を第一候補として、今後検討を進めることが認められた。なお、検討を進めるにあたり、委員 5 名程度の電子化推進ワーキンググループ等を立ち上げて、次の項目について実務業務を進めることとした。

(1) ホームページの新バージョンへの移行

(2) 来年度以降発行の「粘土科学」、「Clay Science」、「粘土科学討論会講演要旨集」の電子化及び J-STAGE 登録

3. 規程等の改正と制定

河野常務委員長より、一般社団法人日本粘土学会学術振興積立金規程、一般社団法人日本粘土学会学術振興賞運営内規、一般社団法人日本粘土学会研究グループ内規の改定案が示され、審議の結果、学術振興積立金規程については積立金の支出承認方法について検討を行い、次回再審議を行うこととした。また、学術振興賞運営内規では謝辞欄への参加費援助の記載は不要とし、研究グループ内規には成果の発表項目に「CLAY SCIENCE」を追加する修正を加えたうえ

で承認された。次に、河野常務委員長より、一般社団法人日本粘土学会粘土科学投稿規程、一般社団法人日本粘土学会粘土科学査読規程、一般社団法人日本粘土学会 CLAY SCIENCE 投稿規程、一般社団法人日本粘土学会 CLAY SCIENCE 査読規程の制定案が示され、審議の結果、一部修正のうえ承認された。最後に、一般社団法人日本粘土学会企画委員会規程の検討案が示され、平成 29 年度第 1 回理事会で審議することが説明された。

4. 平成 28 年度事業報告

黒田会長より、平成 28 年度事業報告書の各事業項目（1. 学術雑誌の編集と発行、2. 研究発表会・見学会等の開催、3. シンポジウム・セミナーの開催、4. 標準試料、5. ホームページ、6. 国際協力、7. 表彰、8. 研究促進、9. 庶務、10. 常務委員会及び理事会）の内容、さらに平成 27 年 8 月 1 日から 9 月 30 日までの事業内容についても追加記載したことが説明され、審議の結果、承認された。

5. 平成 28 年度会計決算及び監事監査報告

志々目会計委員より、平成 28 年度収支計算書、平成 28 年度標準粘土試料決算、平成 28 年度 Clay Minerals 収支、貸借対照表、財産目録、正味財産増減計算書についての説明が行われ、審議の結果、承認された。なお、備考欄への説明の追加や討論会会計の記載法など、再度内容の確認及び必要な修正を行うこととした。また、本年度の最終的な決算として 426,912 円の赤字となったことが報告され、学術振興積立金より引当金として 426,912 円を一般会計に支出することとした。なお、学術振興積立金より引当金の使用については、学術振興積立金運営委員会の承認を得ることとした。次に月村及び高橋監査委員より、平成 28 年度監事監査報告が行われ、会計の赤字解消のための対応を検討するよう要請がなされた。

6. 平成 29 年度事業計画及び予算

黒田会長より、平成 29 年度事業報告書の各事業項目（1. 学術雑誌の編集と発行、2. 研究発表会・見学会等の開催、3. シンポジウム・セミナーの開催、4. 標準試料、5. ホームページ、6. 国際協力、7. 表彰、8. 研究促進、9. 庶務、10. 学会誌等の電子化推進、11. 常務委員会及び理事会）の実施計画と学会誌等の電子化推進事業が新たに追加されたことが説明され、審議の結果、承認された。次に、志々目会計委員より、平成 29 年度収支予算の内容が説明され、審議の結果、承認された。

7. 平成 28 年度総会の日時、場所、議案及びその内容

河野常務委員長より、平成 28 年度総会の開催について、日時：平成 28 年 9 月 15 日（木）11:30～12:30、場所：九州大学病院キャンパス 同総会館小講堂（福岡市東区馬出 3-1-1）、議題として審議事項：第 1 号議案 平成 28 年度事業報告、第 2 号議案 平成 28 年度収支決算報告及び監査報告、第 3 号議案 平成 29 年度事業計画案、第 4 号議案 平成 29 年度収支予算案、第 5 号議案 平成 29・30 年度理事の選任、第 6 号議案 平成 29・30 年度会長の選任、第 7 号議案 平成 29・30 年度監事の選任、報告事項：1. 平成 28 年度学会賞等の受賞者、2.

平成 28 年度学術振興賞の受賞者、3. 第 60 回粘土科学討論会の開催状況、4. その他とすること、さらに各議案の内容についての説明が行われ、審議の結果、承認された。

8. 平成 28 年度総会の準備、進行、登記のスケジュール及び表彰式の進行

河野常務委員長より、平成 28 年度総会の準備、進行、登記のスケジュールについて説明され、総会開催の 1 週間前までに総会案内（日時、場所、議案を明記）及び委任状を「粘土科学」誌に掲載する方法で書面送付し、さらに総会案内及び委任状と総会議案書を総会開催の 1 週間前までにメール送付することとした。また、総会当日の出席者確認を篠原庶務委員、鈴木庶務委員、横山幹事をお願いすること、総会議長を会長とすることが提案され、認められた。次に、総会終了後の議事録の作成、記名・押印、登記までのスケジュールが確認された。最後に、登記書類及び登記手続き等についての法務局での事前確認と 9 月 29 日までに登記手続きを完了するよう事務局への依頼がなされた。

9. 日本地球惑星科学連合教育検討委員会の次期委員

山崎副会長より、日本地球惑星科学連合教育検討委員会の次期委員についての説明が行われ、審議の結果、粘土学会からは次期委員を出さないこととした。

報告事項

1. 第 60 回粘土科学討論会の準備状況

河野常務委員長より、第 60 回粘土科学討論会の準備状況について次のとおり報告された。講演数はポジウム講演 9 件、一般講演の口頭発表 51 件、ポスター発表 35 件。参加登録数は、正数会員 85 名、共催・協賛学会会員 9 名、学生会員 19 名、共催・協賛学会学生会員 0 名、非会員 4 名、学生非会員 10 名。

2. 第 60 回粘土科学討論会優秀講演賞選考の準備状況

河野常務委員長より、第 60 回粘土科学討論会優秀講演賞選考の準備状況について次のとおり報告された。審査希望者数は口頭発表 18 名、ポスター発表 15 名。審査方法として、口頭発表：審査員 4 名とし、①Power Point の作成・内容、②講演の仕方、③質問への対応の 3 項目に対して 10 点満点で審査し、合計点数の高い者から 2 名を採択する。ポスター発表：審査員 2 名とし、①ポスターの作成・内容、②説明の仕方、③質問への対応の 3 項目に対して 10 点満点で審査し、合計点数の高い者から 2 名を採択する。

3. その他

特になし

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、会長及び監事がこれに記名押印する。

平成28年8月27日

一般社団法人日本粘土学会理事会

会 長 黒 田 一 幸 ⑩

監 事 高 橋 範 行 ⑩

監 事 月 村 勝 宏 ⑩